

西暦 2022 年 5 月 25 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

① 研究課題名	胸腔鏡下左 S ¹⁺² 区域切除術における静脈分岐型に基づく手術手順
② 倫理審査委員会承認番号	2022-88
③ 研究期間	実施許可日から 2023 年 5 月 31 日まで
④ 研究の目的	<p>最近の研究で小型肺癌には、従来から標準手術と考えられてきた肺葉切除術ではなく、切除範囲が小さな区域切除術が許容できるということが分かってきました。区域切除術の中でも左 S¹⁺² 区域切除術という術式は比較的多く行われており、その手術手順は肺静脈の分岐型により異なることが想定され、明らかではありません。</p> <p>そこで私たちは肺腫瘍に対し胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術が施行された患者さんのカルテに記載されている臨床情報と術前 CT 検査を分析し、胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術の肺静脈の分岐型に基づく手順の違いがあるのか、またその成績を明らかにしたいと考えています。</p> <p>この研究により、肺静脈の分岐型に基づく手順の違いあることが明らかになれば、小型肺癌に対する胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術の手技の定型化に役立つのではないかと考えています。</p>

⑤ この研究の対象となる方	2007年7月1日から2021年10月31日までに本院および山形大学医学部附属病院で主任研究者が入院もしくは手術に携わった胸腔鏡下左S ¹⁺² 区域切除術を受けた方。
⑥ 研究の方法	この研究では肺腫瘍を患っている方で胸腔鏡下左S ¹⁺² 区域切除術という手術を受けた方43名を対象に当時の臨床情報を用いて、肺静脈分岐の型を分類、それぞれの手術手順、手術成績の解析を実施します。
⑦ 利用する情報	検査データ、診療記録（手術日当時の年齢、性別、病理診断、手術時間、出血量、術後ドレナージ期間、合併症、手術記録）、術前CT検査等。
⑧ 他機関への臨床情報の提供	この研究のために収集した臨床情報は、公立置賜総合病院へ送付し、当院の臨床情報と合わせて解析を行います。提供の際は、匿名化を行いますので、個人が特定されることはありません。また、送付された臨床情報は送付先の規定に従って適切に管理します。
⑨ 臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：内田徹郎
⑩ 臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：塩野知志 主任研究者氏名：加藤博久 分担研究者氏名：鈴木潤、渡辺光、捧貴幸、佐藤開仁、松井雄介
⑪ 臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	1. 山形大学医学部附属病院 第二外科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5342 Fax：023-628-5345 E-mail：h-kato@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名：加藤博久 2. 公立置賜総合病院 呼吸器外科 〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚 2000 番地

	TEL : 0238-46-5000 Fax : 0238-46-5711 E-mail : hirohisa.kato@okitama-hp.or.jp 担当者氏名 : 加藤博久
--	---

以上